

医療法人社団葵会

介護老人保健施設 葵の園・武蔵府中

## 1. 介護職員等処遇改善加算の取得状況

事業所名	サービス名	算定する区分
介護老人保健施設 葵の園・武蔵府中	介護老人保健施設	介護職員等処遇改善加算Ⅰ
	(介護予防) 短期入所療養介護	
	(介護予防) 通所リハビリテーション	

## 2. 職場環境に係る具体的な取り組み

入職促進に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本方針を掲げ、目立つ場所に掲示する</li> <li>運営会議で問題提起するなど、実現へ向けての話し合いを活発化させる</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>職業体験の受け入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力度向上の取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣中学校等の要請があった場合、職場体験の受け入れを積極的に行う</li> </ul>
資質向上やキャリアアップに向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人が受講したい外部講習等を積極的に受講支援する</li> <li>個人が自分のタイミングで学べるよう、動画視聴研修をセッティングする</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>エルダー・メンター（仕事やメンタル面のサポート等をする担当者）制度等導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリセプターシップ制度を活用し、新入職や中途入職者が教わりやすい環境を構築する</li> </ul>
両立支援・多様な働き方の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実、事業所ない託児施設の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働基準法に沿った休業制度等を一早く取り入れ、周知する</li> <li>時間外で行っていた研修やミーティング、会議を可能な限り就業時間内で実施する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>有給休暇が取得しやすい環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有給管理を行い、1年間で著しく消化をしていない者に取得を促していく</li> <li>有給の取得を妨げる発言や風潮があった場合は厳格に対処する</li> </ul>
腰痛を含む心身の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全対策委員会を設置し、必要な対策を講じていく</li> <li>職員が腰痛ベルト等を購入しやすいよう支援する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>腰痛アンケート、ストレスチェックを年間計画に取り入れて実施する</li> <li>高ストレス者や要注意者には必要な措置を講ずる</li> </ul>
生産性向上のための業務改善の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インカム、タブレットを積極的に使用していく仕組みを構築する</li> <li>見守りセンサー等を積極的に活用し、業務量を縮減する</li> </ul>
やりがい・働きがいの醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア担当を設置し、ボランティア受け入れや交流の機会を増やしていく</li> <li>自治会、青年会との繋がりを大切にし、交流機会を増やしていく</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民や家族を交えた勉強会などを開催する</li> </ul>